

今夏、世界のパラアスリートたちが東京でめざましい活躍を見せてくれました。

一方で、障害者の中で、日常的にスポーツをしている人の割合は健常者に比べ依然として低い状態です。障害の有無にかかわらず、だれもがスポーツに親しむことのできる社会は、今回のTOKYO2020大会がめざしたレガシーの一つです。そのため、国内外を問わず、とくに障害者がスポーツをすることへの障壁がさらに大きいと言われる、開発途上にある国や地域において、何らかのアクションが期待されています。

走るという行為はあらゆるスポーツの中でも敷居の低いものだという見方もあります。世界中の下肢切断者が、普通に走ることができる社会を目指すアクション「Blade for All (ブレード・フォー・オール)」に取り組む講師とともに、いま我々に何ができるかを、考えてみたいと思います。

お申込み方法 Eメールもしくは、お電話でお申込みください。

お申込み先 東京都人権プラザ

Eメール fukyu3101@tokyo-jinken.or.jp

Eメール申込先

電話 03-6722-0123

- ①～④の各項についてEメール・お電話でお知らせください。

①代表者名 ②参加人数 ③電話番号 ④連絡用のメールアドレス



申込締切 10月20日・水曜日

参加方法について

- 講座開催前日までに、招待URLをメールにてお送りします。
- Wi-Fi 環境での参加を推奨いたします。携帯電話回線をご利用の場合、容量確認(速度制限がかかっていないか)を事前に行ってください。
- 通信料は参加者負担となりますのでご了承ください。
- 録画録音、動画URLの無断共有、チャットでの誹謗中傷、参加者の情報公開は固く禁止させていただきます。発見した場合は直ちにご退場いただきます。

講師プロフィール 遠藤 謙 (えんどう・けん) 株式会社Xiborg 代表取締役

1978年生まれ。静岡県出身。慶應義塾大学修士課程修了後、渡米。マサチューセッツ工科大学メディアラボ バイオメカトロニクスグループにて博士取得。現在、ソニーコンピュータサイエンス研究所 研究員。ロボット技術を用いた身体能力の拡張に関する研究や途上国向けの義肢開発に携わる。2014年には、競技用義足開発をはじめ、すべての人に動く喜びを与えるための事業として株式会社Xiborgを起業し、代表取締役に就任。2012年、MITが出版する科学雑誌 Technology Reviewが選ぶ35歳以下のイノベータ35人 (TR35) に選出された。また、2014年にはダボス会議ヤンググローバルリーダーズに選出。

フォローアップ企画(予定)

- 競技用義足(ブレード)の展示
 - オンライントーク(海外での取組紹介)※
※10月23日(土) 講座終了後、引き続き開催する予定です。
 - 「ギソクの図書館」映像紹介など
- ・詳細は、決定次第、東京都人権プラザホームページ等でお知らせします。



©ギソクの図書館